

野生動物へのエサやりはやめましょう

ハト・カラス・トビ など

野生動物へのエサやりで様々な問題がおきています

●人がエサをあげると…

- 人の与える食物に依存して、自分でエサをさがせなくなる。
- 個体数が増え過ぎ、自然界のバランスを乱し、生態系に影響を及ぼすおそれがある。
- エサ場にトビやカラスが集まり、付近にある洗濯物や車を糞で汚す、騒音を立てる、ゴミをあさる。
- 人を恐れなくなり、人に接近するようになる。

エサやりをめぐり、住民同士の対立や苦情、口論などに発展する例が増えていきます。

- 善意によるエサやりが、野生動物の生態と人の生活環境に被害をもたらしてしまうことがあります
- 野生動物は、自然の中で、その動物が本来のエサとしている自然の物を食べて生活しています。
- 野生動物にはエサを与えず、自然のまま見守ってください。

